

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294201971		
法人名	社会福祉法人 駿府葵会		
事業所名	グループホーム おきつの家 (Bユニット)		
所在地	静岡市清水区興津中町 1134-1		
自己評価作成日	平成30年12月27日	評価結果市町村受理日	平成31年2月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2294201971-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成30年12月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

要介護1～要介護5までの高齢者が、1ユニット(9名)で共同生活を送るサービスです。毎月のイベントやレクリエーション、買い物や掃除を一緒に行うことで、それぞれの役割をもって絆を深めながら生活を送ることができます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年の8月1日に、小規模多機能事業所と併設で新規開設した事業所です。此処1年余り隣人とは苗や、旅行のおみやげをもらうような関係へ発展し、そのご縁から目前3軒のご近所とも親交が進むとともに、併設事業所が申請した『地域密着型サービス独自報酬算定(小規模多機能事業所)』を活用しての、合同一周年祭には『お菓子釣り』『たこやき』『バルーンアート』『ぶちバザー』『ピエロ』とメニュー満載で地域から100名近くが集まる盛況ぶりに至っています。用意した駐車場が終日空いたままだったので、徒歩圏内の地元の皆さんだけでこの集客は快挙と、今後の地域行事への取組みに弾みがついています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念について、管理者を含めすべてのスタッフに提案をしていただき、その上で決定をしております。それを基に運営をしていく事で合意をしています。	開設時には、職員に「おきつを家の理念を考えてほしい」として、『心豊かで安全に その人らしく暮らせるホーム』等個々の案や考えをだしてもらい、現在の『その人らしさを大切に。生きる力に寄り添う』と決まりました。作成の経緯から、職員一同大切にしています。	「生きる力とは何か」、例えば生活リハビリとするならメニューを増やすというように、具体的な実践のミエル化を期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	オープンしてから一年が経ちますが、いまだにスタッフの人員不足という事でフルサービスができない状況です。地域の方々への知名度がまだ薄いため交流はまだまだこれからです。	隣人とは苗や、旅行のおみやげをもらうような関係へ発展し、そのご縁から目前3軒のご近所とも親交が進んでいます。また1周年記念では徒歩圏内の地域住民100名余りで賑わい、地域と共に寿ぎを分かち合うことができています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	取引先の薬局(地場の薬局)を通じて月1回の「健康イベント」の開催や3ヶ月に1回の「健康スイーツ作り」を開催して頂き地域の方をお誘いして地域交流を通じて利用者の方々に関わって頂いております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ここでの会議は気兼ねのないざっくばらんに話し合える場としておしゃべりをして頂き、その中から良いアドバイスが自然と得られるようにしております。	階下の小規模多機能事業所と合同で隔月開催が叶っています。メンバーには町内会長や東海道薬局などが挙がってはいますが、出席率がはかばかしくないのは否めません。内容は実績・事故・苦情等の報告が中心となっています。	回を重ねる度に参加者数が減っているため、是正を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者とはわからない事があればすぐに連絡を取ってアドバイスは頂いておりますが、関わりはまだ薄いのが現状です。	運営推進会議には地域包括支援センター職員が毎回参加くださっていて、利用者が暴力を振るうといった困難事例にも助言をもらえています。また、つい最近入った実施指導では身体拘束適正化委員会の開催が進んでない点の指摘を受けるに至り、改善に着手しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ宣言をしております。法人の指針もありそれに沿って行っています。法人の必須研修となっておりスタッフ全員が受講して自覚をしております。	感染症、認知症、身体拘束排除の3点は、法人が全員出席を促しての研修会を年1回開催しています。更に所内でも勉強会を重ねてはいるものの、本年法改正の身体拘束適正化のための委員会開催は立ち遅れているため、年度内に急ぎ完遂する予定です。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人研修の必須となっておりスタッフ全員が受講して自覚をしております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	生活保護の方で権利擁護下の方がおられますので実践をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項説明書を必ず読み上げて一つ一つ説明をしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・ご家族からの意見・要望が申し送り時とか運営推進会議に掛けて意見交換を行っています。	面会が多い人で月1回、少ない人はまったくなく、また事業所も家族向け通信が滞っていて、相互コミュニケーションの場は少ないと言わざるを得ません。このような状況ですが、情報交換の機会が途絶えないよう月1回以上は事業所から家族に電話を入れることを旨としています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の施設会議においてスタッフとの意見交換をしておりますので場で解決するようにしています。	月1回のスタッフ会議は熱を帯びてしまい以前は2時間越えもありましたが、今では要領も心得、1時間半程度で収まるようになった程で、職員は総じて積極的に発言しています。また職員の要望に応じて、夜勤体制を変更した例もあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	疑問に思ったことは事前に情報を得て、職員会議を通じて全体の意見交換をして統一した見解にしていく事しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	できる限りスタッフの人数とシフトを考慮して受講できるように配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	まだできていないのが現状です。スタッフの個々の力量に差がある事で底上げが優先しなければならぬと思っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活保護の方で権利擁護下の方がおられますので実践をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に重要事項説明書を必ず読み上げて一つ一つ説明をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・ご家族からの意見・要望が申し送り時とか運営推進会議に掛けて意見交換を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎月の施設会議においてスタッフとの意見交換をしておりますので場で解決するようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	疑問に思ったことは事前に情報を得て、職員会議を通じて全体の意見交換をして統一した見解にしていく事しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	できる限りスタッフの人数とシフトを考慮して受講できるように配慮しています。	飲酒や喫煙はNGではありませんが、今は嗜む利用者がいません。疑似餅として白玉で提供したり、お節やちらし寿司、おはぎといった時節料理を続けられるよう支援しています。2、3ヶ月に1度、同級生や近所の友人が繰り返し訪れている人もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	まだできていないのが現状です。スタッフの個々の力量に差がある事で底上げが優先しなければならぬと思っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人、本体の特養に転居されている方がほとんどなので、出向いた時にはお訪ねして近況をスタッフに伝えています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の要望は日常生活において常に把握に努めており、ご家族、ご親族等が訪ねて来られた時にはご報告をして少しでもご満足に過ごして頂けるようにしております。	人の言動を見て取って分析する利用者は薬の飲み込みを職員が視認チェックするのを嫌がるため、本人の意向を尊重して飲む場から離れて見守る(落葉のみ後で確認)という例もあります。アイコンタクトで肩を抱くスキンシップも併せて、優しく声をかける職員の姿も視認しました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々一日一日は申し送りで情報を交換して、月一回の施設会議においてはカンファレンスを通して経過状況の情報交換をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタル測定はもとより、お一人おひとりの生活パターンを大事にしてそれぞれの思いで過ごされるように努めており、スタッフが利用者の担当を決めてそれぞれが体調も見守っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	申し送りで気になった時点で話し合いを直ぐに行い対策を考え、実行して施設会議で検証を行うように努めています。	毎月のスタッフ会議の中でカンファレンスをおこない、また利用者本人の課題も計画作成担当者(介護支援専門員と兼務)から提示され、全員参加の介護計画書につなげています。入居間もない利用者も『私の暮らしまとめシート』で探求を深めていることを書面確認しました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のバイタル測定や体調不良時等のバイタル測定の値や体調の異常など、訪問診療の先生と健康面では情報交換を行ってスタッフに情報を書面で伝えています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の運営と支援で手がいっぱいであるのが現状です。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	オープン一年ですので、事業所のご近所の方と町内会長とはお話しができる状態にはなりましたが、まだまだ地域の行事・活動には一緒に行っていないのが現状です。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日々の健康面では訪問診療の医療機関提携をしているので、ご利用者お一人は月2回の診療を受診をしています。	月2回訪問診療くださる協力医に8名が変更し、1名が在宅の頃からのかかりつけ医を継続しています。FAX等で届けた常の状態を以て医師が診療をおこない、立ち合い者が受診記録をとり、医療情報・介護記録・業務日誌に記載し、情報共有しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療時の体調について、夜勤者が情報収集をして訪問診療医に情報を伝え、訪問診療時に介護スタッフが立ち会って受診情報を伝える事になっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時や入院時は管理者ないし計画担当者が立ち会ったり、様子を見に行ったりして病院との情報交換を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りができる体制が整っていないので、医療行為や重度化の程度によっては転居をお願いするしかないのが現状です。	訪問看護事業所の看護師が週1回健康管理には訪れていますが、「看取りはおこなわない」としてしています。『重度化対応・終末期ケア対応指針』を備え、契約時にはたん吸引等具体的な事例も提示しつつ「医療的な措置が必要になったら難しい」ことを家族に了解を得ています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年二回の避難訓練時において、通報訓練を必ず取り入れて急変時の救急手配を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の避難訓練を行っているが、地域との連携した避難訓練は行っていないので、協力体制までは築かれていません。	開設から初めてとなる訓練には消防署の立ち合いを求め、年2回の法定訓練に取り組んでいます。また、地域の防災訓練には役職者2名が挨拶を兼ねて出向き、利用者3名も一緒に参加しています。発電機はあるものの、食糧備蓄はまだ準備できていません。	備蓄について準備が立ち遅れているため、次回の運営推進会議で議題にすることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者への呼びかけは「ちゃん」付けはなしで行っている。他のご利用者と一緒にいる時はプライバシーについて問いかけをしないようにしています。	個人情報保護や肖像権に係る同意書は契約時に家族と交わしています。呼称は「～さん」を原則とし、一人ひとりの家族・利用者のことも外部は勿論、「気軽にその人のことを話さない」ことを所内ルールとして、雇用契約の際には守秘義務における誓約書もとっています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者から、これが欲しいとか良く言われるので、外出の時を狙って買い物をして頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間はご利用者でまちまちであり、就寝時間もご本人任せで見守っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	汗をかいたり、汚されたら着替える、服装が乱れていたら整容をする、以上のごく当たり前の事を行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食、夕食は湯せんのメニューで昼食は高齢者用の弁当をお出している。お一人おひとりの好き嫌いを把握して嫌い物はださないようにしています。	ご飯と汁物は中で調理していますが、他は外の業者を利用しています。食事前には嚥下体操をおこなうとともに、重度化・噛み合せ・飲み込みにおける対応は、刻みやミキサー等職員がひと手間かけて工夫しています。またお誕生会と手作り料理の日を毎月設けています。	テレビをつけていますが、誰も見ていないようなので、今後はBGMに替えると良いと思います。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	湯せんの業者、高齢者専用弁当はカロリー計算した品物が届けられているので栄養のバランスの取れた食事、量を計算して提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で食後行う方や、誘導をして行う方などまちまちですが全員の方が行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	おひとりが失禁の多い方で排泄のパターンが分からない方で定期間隔誘導を行っており、また、腸の調子が悪い方は失禁が多いので薬の処方での治療をしている、一週間位の便秘が続く方は浣腸をして排泄をしています。	自立の人を含めて排泄チェック表をつけています。例えば便秘には、「食べているし」「歩けているし(動けているし)」「なぜ?」と、話し合い「薬が原因かも」と判断して、改善につなげた例もあります。また全盲の利用者は呼び鈴で職員を呼んで失敗せずに過ごさせています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	定期的な水分補給(牛乳を含む)、ヨーグルトなどを定期的に提供をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日程は決めてありますが、体調の異常やご家族等の訪問などで、時間や日程の変更を臨機応変に行っております。	「午後に入りたいですか?午前にしますか?」と、本人に決めてもらい、ゆったり湯に浸かってもらうよう配慮しています。湯は一人ひとり入れ替えて清潔に努めるほか、身体のチェックとともに愚痴や相談事を聴く機会とも成っています。中には、いい気分となって歌をうたう人もいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	事業所の行事等で集団行動をする時以外は、ご自分のペース過ごされるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や薬剤師の訪問によって薬剤の支援を頂いているので、症状の変化があればその都度報告して早目の対応をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の中には積極的にお手伝いをして頂ける方も多く、役割を分担して皆さんに取り組んで頂けるようにしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	散歩程度の外出(ご近所)や遠方の外出(企画して遠出する)、買い物ツアーでご近所のスーパーとか家電量販店等にお連れしたりしています。	運転免許を持つ職員が多くないため階下の小規模多機能事業所の協力を得ることで、三保海岸や夢テラス等へドライブ外出が実現しています。散歩や外気浴を1日の流れに位置付けてはいますが、家庭菜園では水まきを役割としている人がいます。	散歩や外気浴を1日の流れに乗せるか、週何回と目標をつくることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお金を外出や買い物の時に使えるように預かっております。ご利用者の中にはご自身で使いたい方もおられるので、少ない金額ではありますがご自分の意志でご買い物ができるように支援をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から携帯電話を与えられているご利用者もおられ、欲しいものがあれば電話をされてお金を持っていたりしています。お手紙を書かれる方は当施設ではおられません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースの窓側の真ん中には大型TVを置いて、見やすくなるようにソファを置いて寛げるようにしています。	対面キッチンでリビングが見渡せるとともに、幅広の天板では記録をとったり、食事のトレイが全員分置いて便利です。昼食後トイレとフロアを拭き掃除した後、夜勤者が皆寝静まった頃、再びピューラックス等の液剤を使って2度目の清掃をおこなうことで、清浄な空間を保っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースにおいては、お一人おひとりの居場所があって、時間によっては異なりますがガチ合わないようにして過ごされています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に、ご本人の嗜好品をできるだけ持って頂き、ご希望通りの居室になるようにお勧めをしています。その後はご本人の気持ちが変わればお助けをするようにしております。	利用者がリビングで過ごす間に換気をおこない、空気が新鮮です。ブラシや目覚まし時計が整然と並んだ居室には、アクティビティ作品として取組んだカレンダーに「5つ」と入っていたので本人に尋ねたところ、「朝、鐘が鳴るのよ。それを数えるの」と自慢げに説明下さいました。	入口上部の棚は、扉がないため落下も予測されることから置くのは紙類のみとなっておりますが、利用者が杖等で触るようですので、あらゆるリスクに配慮した是正を期待します。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者お一人おひとりのペースを守っていけるようにできること、わかることをはっきりとしてさせるためにもテーブルを利用してのグループ分けをして環境を整えています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294201971		
法人名	社会福祉法人 駿府葵会		
事業所名	グループホーム おきつの家 (Cユニット)		
所在地	静岡市清水区興津中町 1134-1		
自己評価作成日	平成30年12月27日	評価結果市町村受理日	平成31年2月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2294201971-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成30年12月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

要介護1～要介護5までの高齢者が、1ユニット(9名)で共同生活を送るサービスです。毎月のイベントやレクリエーション、買い物や掃除を一緒に行うことで、それぞれの役割をもって絆を深めながら生活を送ることができます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年の8月1日に、小規模多機能事業所と併設で新規開設した事業所です。此処1年余り隣人とは苗や、旅行のおみやげをもらうような関係へ発展し、そのご縁から目前3軒のご近所とも親交が進むとともに、併設事業所が申請した『地域密着型サービス独自報酬算定(小規模多機能事業所)』を活用しての、合同一周年祭には『お菓子釣り』『たこやき』『バルーンアート』『ぶちバザー』『ピエロ』とメニュー満載で地域から100名近くが集まる盛況ぶりに至っています。用意した駐車場が終日空いたままだったので、徒歩圏内の地元の皆さんだけでこの集客は快挙と、今後の地域行事への取組みに弾みがついています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念について、管理者を含めすべてのスタッフに提案をしていただき、その上で決定しております。それを基に運営をしていく事で合意をしています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	オープンしてから一年が経ちますが、いまだにスタッフの人員不足という事でフルサービスができない状況です。地域の方々への知名度がまだ薄いため交流はまだまだこれからです。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	取引先の薬局(地場の薬局)を通じて月1回の「健康イベント」の開催や3ヶ月に1回の「健康スイーツ作り」を開催して頂き地域の方々をお誘いして地域交流を通じて利用者の方々と関わって頂いております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ここでの会議は気兼ねのないざっくばらんに話し合える場としておしゃべりをして頂き、その中から良きアドバイスが自然と得られるようにしております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者とはわからない事があればすぐに連絡を取ってアドバイスは頂いておりますが、関わりはまだ薄いのが現状です。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ宣言をしております。法人の指針もありそれに沿って行っています。法人の必須研修となっておりスタッフ全員が受講して自覚をしております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人研修の必須となっておりスタッフ全員が受講して自覚をしております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	生活保護の方で権利擁護下の方がおられますので実践をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項説明書を必ず読み上げて一つ一つ説明をしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・ご家族からの意見・要望が申し送り時とか運営推進会議に掛けて意見交換を行っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の施設会議においてスタッフとの意見交換をしておりますのでその場で解決するようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	疑問に思ったことは事前に情報を得て、職員会議を通じて全体の意見交換をして統一した見解にしていく事にしております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	できる限りスタッフの人数とシフトを考えて受講できるように配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	まだできていないのが現状です。スタッフの個々の力量に差がある事で底上げが優先しなければならないと思っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活保護の方で権利擁護の方がおられますので実践をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に重要事項説明書を必ず読み上げて一つ一つ説明しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・ご家族からの意見・要望が申し送り時とか運営推進会議に掛けて意見交換を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎月の施設会議においてスタッフとの意見交換をしておりますのでその場で解決するようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	疑問に思ったことは事前に情報を得て、職員会議を通じて全体の意見交換をして統一した見解にしていく事しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	できる限りスタッフの人数とシフトを考えて受講できるように配慮しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	まだできていないのが現状です。スタッフの個々の力量に差がある事で底上げが優先しなければならないと思っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人、本体の特養に転居されている方がほとんどなので、出向いた時にはお訪ねして近況をスタッフに伝えています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の要望は日常生活において常に把握に努めており、ご家族、ご親族等が訪ねて来られた時にはご報告をして少しでもご満足に過ごして頂けるようにしております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々一日一日は申し送りで情報を交換して、月一回の施設会議においてはカンファレンスを通して経過状況の情報交換をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタル測定はもとより、お一人おひとりの生活パターンを大事にしてそれぞれの思いで過ごされるように努めており、スタッフが利用者の担当を決めてそれぞれが体調も見守っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	申し送りで気になった時点で話し合いを直ぐに行い対策を考え、実行して施設会議で検証を行うように努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のバイタル測定や体調不良時等のバイタル測定の値や体調の異常など、訪問診療の先生と健康面では情報交換を行ってスタッフに情報を書面で伝えています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の運営と支援で手がいっぱいであるのが現状です。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	オープン一年ですので、事業所のご近所の方と町内会長とはお話しができる状態にはなりましたが、まだまだ地域の行事・活動には一緒に行っていないのが現状です。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日々の健康面では訪問診療の医療機関提携をしているので、ご利用者お一人は月2回の診療を受診をしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療時の体調について、夜勤者が情報収集をして訪問診療医に情報を伝え、訪問診療時に介護スタッフが立ち会って受診情報を伝える事になっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時や入院時は管理者ないし計画担当者が立ち会ったり、様子を見に行ったりして病院との情報交換を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りができる体制が整っていないので、医療行為や重度化の程度によっては転居をお願いするしかないのが現状です。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年二回の避難訓練時において、通報訓練を必ず取り入れて急変時の救急手配を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の避難訓練を行っているが、地域との連携した避難訓練は行っていませんので、協力体制までは築かれていません。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者への呼びかけは「ちゃん」付けはなしで行っている。他のご利用者と一緒にいる時はプライバシーについて問いかけをしないように努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者から、これが欲しいとか良く言われるので、外出の時を狙って買い物をして頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間はご利用者でまちまちであり、就寝時間もご本人任せで見守っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	汗をかいたり、汚されたら着替える、服装が乱れていたら整容をする、以上のごく当たり前の事を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食、夕食は湯せんのメニューで昼食は高齢者用の弁当をお出している。お一人おひとりの好き嫌いを把握して嫌い物はださないようにしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	湯せんの業者、高齢者専用弁当はカロリー計算した品物が届けられているので栄養のバランスの取れた食事、量を計算して提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で食後行う方や、誘導をして行う方などまちまちですが全員の方が行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	おひとり失禁が多い方で排泄のパターンが分からない方で定期間隔誘導を行っており、また、腸の調子が悪い方は失禁が多いので薬の処方治療をしている、一週間位の便秘が続く方は浣腸をして排泄をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	定期的な水分補給(牛乳を含む)、ヨーグルトなどを定期的に提供をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日程は決めてありますが、体調の異常やご家族等の訪問などで、時間や日程の変更を臨機応変に行っております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	事業所の行事等で集団行動をする時以外は、ご自分のペース過ごされるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や薬剤師の訪問によって薬剤の支援を頂いているので、症状の変化があればその都度報告して早目の対応をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の中には積極的にお手伝いをして頂ける方も多く、役割を分担して皆さんに取り組んで頂けるようにしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩程度の外出(ご近所)や遠方の外出(企画して遠出する)、買い物ツアーでご近所のスーパーとか家電量販店等にお連れしたりしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお金を外出や買い物の時に使えるように預かっております。ご利用者の中にはご自身で使いたい方もおられるので、少ない金額ではありますがご自分の意志でご買い物ができるように支援をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から携帯電話を与えられているご利用者もおられ、欲しいものがあれば電話をされてお金を持っていただいております。お手紙を書かれる方は当施設ではおられません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースの窓側の真ん中には大型TVを置いて、見やすくなるようにソファを置いて寛げるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースにおいては、お一人おひとりの居場所があつて、時間によっては異なりますがガチ合わないようにして過ごされています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に、ご本人の嗜好品をできるだけ持って頂き、ご希望通りの居室になるようにお勧めをしています。その後はご本人の気持ちが変わればお助けをするようにしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者お一人おひとりのペースを守っていただけるようにできること、わかることをはっきりとさせてさせるためにもテーブルを利用してのグループ分けをして環境を整えています。		